

## 小学校低学年における英語活動について

古河市教育委員会指導課

### 1 英語活動の内容について

古河市は教育課程特例校指定(英語特区)として、学習指導要領で定められた小学校中学年は年間 35 時間の外国語活動、高学年は年間 70 時間の外国語科に加え、小学校1年生及び2年生において年間 10 時間ずつ英語活動を実施しています。

英語活動は、学級担任とALTによるチームティーチングによって行われ、歌やゲーム等を通して、英語の音声やリズム、海外の文化に慣れ親しむとともに、コミュニケーションを図る楽しさを感じることをねらいとしています。活動内容は、色や形、数、動物の名前など、児童にとって身近な話題を扱い、中学年で行われる外国語活動との接続を大切にしています。



古河市における英語教育

### 2 実践事例

#### (1) 古河第一小学校

英語による絵本の読み聞かせや遊び歌に加え、好きな動物について伝え合う活動を行いました。児童は「Hello/Good bye」「I like ~」という表現を使って、英語であいさつしたり、好きな動物を紹介し合ったりしました。楽しみながら繰り返し行うことで、自信をもって発音することができました。



#### (2) 諸川小学校

児童は知っている英単語とジェスチャーを用いて、英語でスポーツに関するクイズを行いました。活動を通して、「ドッジボール」や「バスケットボール」など、ALTによる発音と日本語との音声の違いに気づきました。また、失敗を恐れず表現している児童を教師が称賛することで、児童の意欲が一層高まっていました。

